

日本経済を護り、未来を創った先覚者

マンガ

井上準之助

「日本に井上がいる限り、この国は信用できる」
世界がその死を惜しんだ、不屈の財政家の真実。

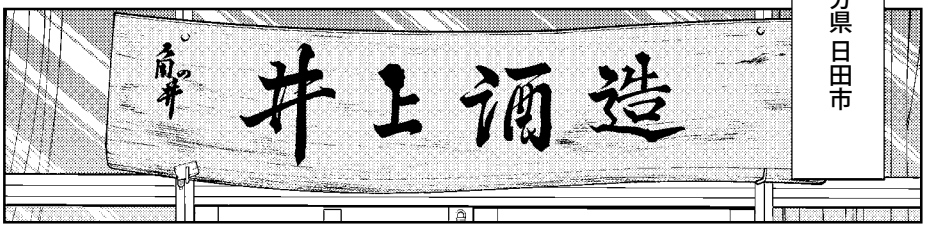
関東大震災、金融危機、世界恐慌……。未曾有の国難に、なぜ命をかけて立ち向かうことができたのか。「今ではなく、遠い未来の子どもたちのために」――。水郷・日田から世界へと羽ばたき、激動の時代を駆け抜けた知られざる偉人の生涯が、今、マンガで蘇る！

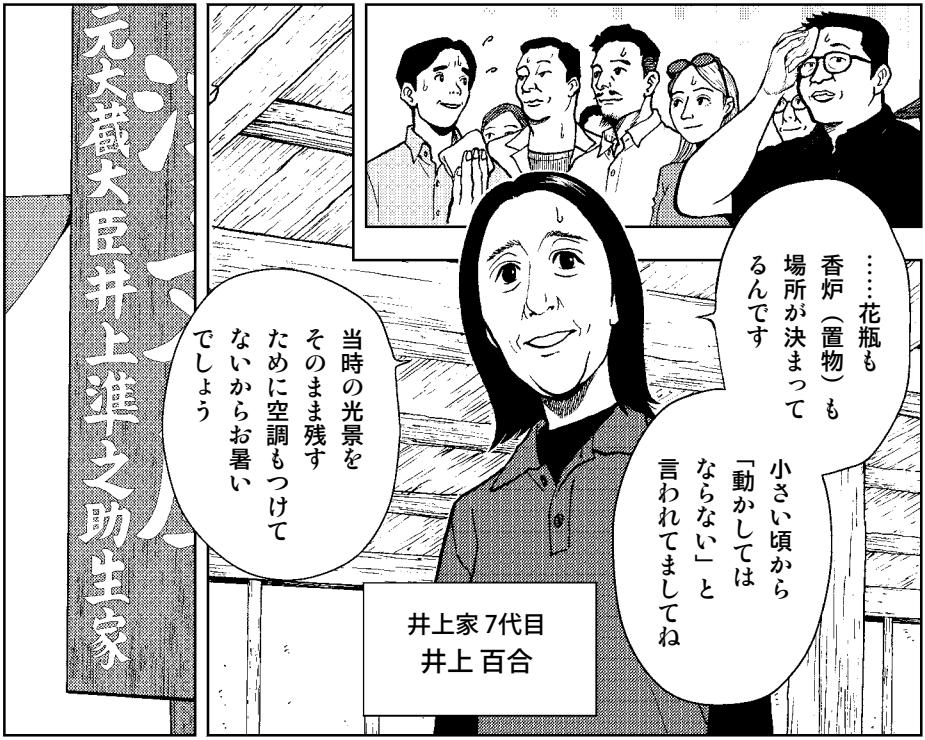
［編著］日田市　［マンガ］向山廉平

梓書院


ゴオオオオオ

大分県 日田市


酒の井
井上酒造


元大蔵大臣井上準之助生家
……花瓶も香炉（置物）も場所が決まってるんです
小さい頃から「動かしてはならない」と言われてましてね
当時の光景をそのまま残すために空調もつけてないからお暑いでしょう
井上家 7代目
井上 百合

台湾日月潭記念模型】
2年（1937年）8月完成。

事は、昭和初期の世界恐慌の影響を受け資金難の為、幾度と

井上準之助は、台湾の産業開発の必要性を理解し外債に取り

ガン商会のトマス・ラモントと交渉して、外債成立に大きな
16年（1931年）10月1日に日月潭第一発電所工事は着手

月　台湾水力発電所社長に就任した幹一朗は、東大法

を果たした井上準之助は
来なかった

みなさん
台湾からお越し
なので

「あれ」の
模型を早く
拝見したい
ようで…

あ　はい

おお！
たしかに
日月潭だ！

このダムと
水力発電所のおかげで
今の台湾があると言っても
過言ではないですからね

世界に2つしかない
この記念模型を日本で
拝見できて感動です

――と
おっしゃってます

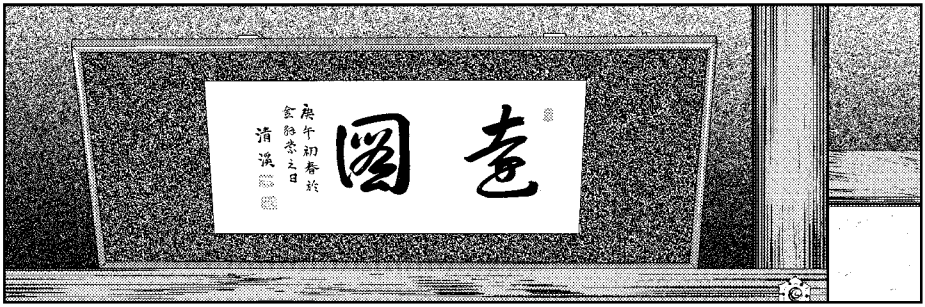
ありがとう
ございます
とても
光栄です

ペラ
ペラ

日月潭は当時
東洋一の水力発電所
でしたからね

おかげで
台湾の工業化が
進み経済発展の
礎となったと
言われている

〝ジュンノスケ〟は
間違いなく台湾の
恩人のひとりです！



あれが
井上準之助が
残した書
「遠図」です

ペラ
ペラ
ペラ

遠い
図らい…

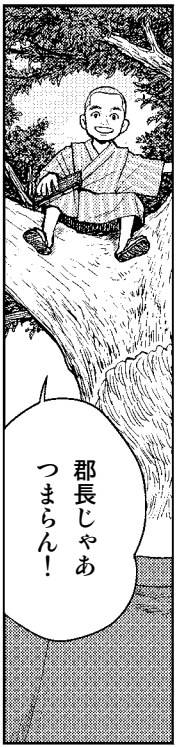
目の前のことに
囚われることなく
長期的展望を
もつこと…

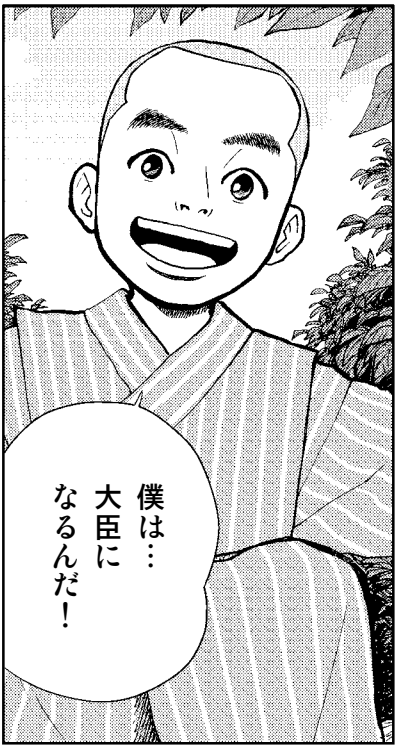
井上準之助の
生涯を表した
ような言葉です

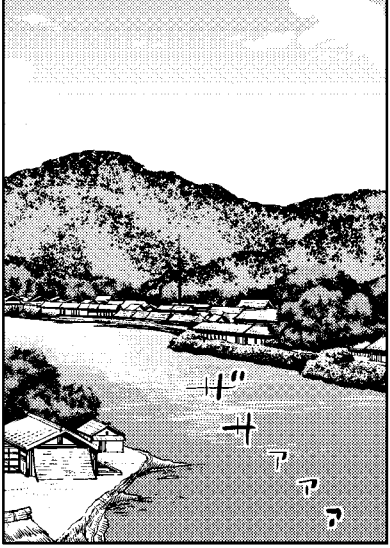

明治11（1878）年
井上準之助（9歳）

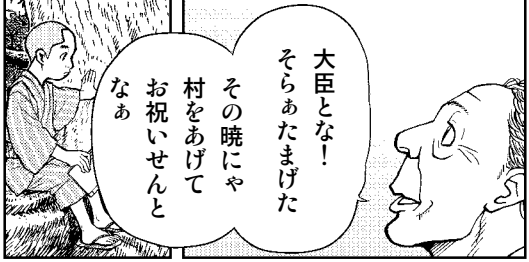

おーい準ちゃん
まーたそんな
ところで本を
読んどるんかい？
小松の
じっちゃん


そんなに
勉強して将来は
郡長かなにかに
でもなるのかい？

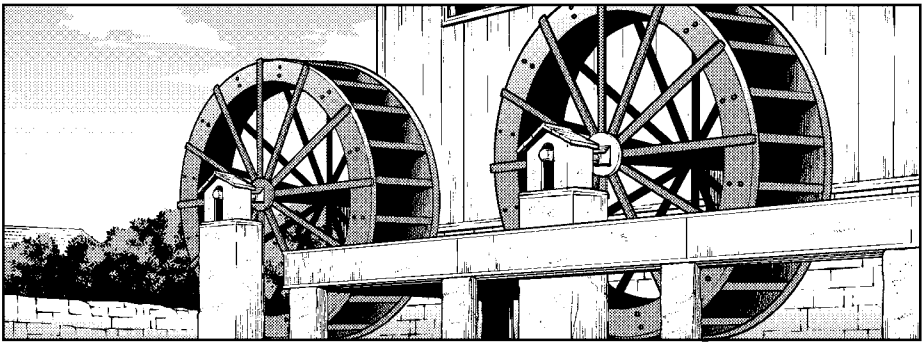

郡長じゃあ
つまらん！


僕は…
大臣に
なるんだ！


ザァァァ


大臣となぁ！
そらぁたまげた
その暁にゃ
村をあげて
お祝いせんと
なぁ


…ところで
読書もいいが
臼のほうは
ええんかい？
!!




準之助！
あなたはまた
臼を放ったらかして
本ばかり読んでたの
でしょう！


見て
ごらん！
米をこんな粉に
してしまったら
酒造りに使えない
でしょう！
ザッ

ごめんなさい…

井上準之助の生まれた
井上家は江戸時代から
代々続く造り酒屋の
家系であったが
彼の興味は酒造りには
向かわず―



7人兄弟の末っ子
として育った
準之助は
咸宜園で学んだ
叔父・簡一より
学問を学び

その利発さは
目を見張るものが
あったという

準之助は
本当に飲み込みが
早い

将来が
楽しみだな

そして
月日は流れ―


［第１章］
日本経済を護る要
明治29（１８９６）年
東京
日本銀行
カツ
カツ
東京帝国大学を卒業後
同郷の山本達雄総裁との
縁もあり 準之助は
日本銀行に入行
その後まもなくして
準之助は
イギリス ベルギーと
欧州に赴任
一旦帰国も
今度はアメリカに赴任と
若くして数か国を
渡り歩き―

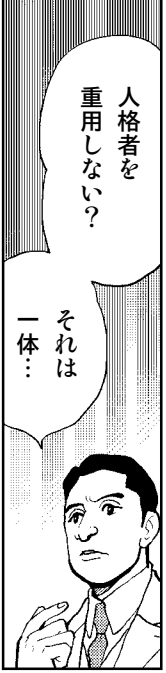

激しく揺れ動く
世界の経済事情の今を
その身で感じとっていた


明治42（1909）年
ニューヨーク


商社・伊藤忠商事
二代目
伊藤忠兵衛（23歳）


忠兵衛君
貿易の拡大により
伊藤忠商事も今後
ますます大きく
なっていくだろう
会社が大きく
永く続いて
いくとき
経営において
大切なことは
なんだと思う？


経営において
大切なこと…
うーん
いろいろ考える
ことがありすぎて
悩ましいですね…
うむ
確かにいろいろ
考えるべきことは
あるが
今後君が経営者に
なったとき
「人格者を重用
しない」を肝に
銘じておくといい


人格者を
重用しない？
それは
一体…


人格者とはなにも
徳の高い人を
指して言っている
のではない
私が
言いたいのは…
「忠義一辺倒で
主の言うことに従順な
だけの重臣はいらない」
ということだ


忠義一辺倒…


従順なことは
一見いいことの
ように思える
しかし…


世界は広く
複雑に絡み合い
日々 今までに
経験しなかったことが
起こっている
だからこそ
ただ主の命令に
従うだけでなく
自分の頭で考え
常に疑問を持つ…
未来を想像し
一歩踏み出す勇気の
ある者こそ 大事に
しなければいけないよ

この「人格者を
重用するな」という
井上準之助の言葉は
日本一の商社となった
今でも伊藤忠商事に伝わる
教えとして受け継がれて
いるという

アメリカから帰国後
海外で得た知見と
手腕を期待され
井上準之助は
海外金融を中心に
取り扱う特殊銀行
横浜正金銀行の
頭取に就任する
こととなる

さらに時は流れ
大正8(1919)年

第19代
内閣総理大臣
原　敬

前総裁が
亡くなった今
次の日銀総裁には
海外経験豊富な
君になってもらい
たいと思っている

私が
日銀総裁に…!?

井上準之助
この時51歳
目まぐるしく変わる
世界情勢のなか
日本の経済を護る要職が
その双肩に託された
瞬間であった


内閣総理大臣
原　敬
農商務大臣
（元日銀総裁）
山本達雄
大蔵大臣
高橋是清
大正8（1919）年
首相官邸
日銀総裁
井上準之助
［第2章］
急転直下の大不況


…先の大戦で
日本は前代未聞の
好景気に沸いた
大幅な輸出超過で
長年の貿易赤字を
嘘のように逆転した
問題は
これからだ
戦争が
終わった今
生糸や繊維などの
需要は下がり
日本の輸出産業は
一気に冷え込む
でしょう
だからと言って
日本は
この輸出市場を
手放しては
ならない

その通りです

一度失えば取り戻すことは容易ではないでしょう　これを死守するために輸出にはできる限りの援助が必要です

第一次世界大戦後
世界を覆う不景気の波に対し
日本をどう守っていくべきかというかつて経験したことのない難題に直面していた

そんななか
各地で不景気への備えを呼びかけてまわった

好景気の反動は必ず来る
今から準備をしてもらいたい

もはや反動による不景気の波は迫っている！

大戦中の好景気の余波で楽観視する経済界にも再三警告を行っていた準之助であったが

不景気の波は容赦なく経済界を飲み込んでいく――

先日も薬品会社が
ひとつ倒産した

多額の借金があった
そうだが 無論
この会社に金を
貸していた者が損を
するわけだ

それに関係する
銀行は実に33件に
のぼる…

カタッ

第一次世界大戦の
影響による異常な
投機的インフレ——
井上準之助の
言うところの
「空景気」の反動は
すさまじく全国で
倒産する企業が
続出しその影響で
休業する銀行も
増えていった

カツ
カツ

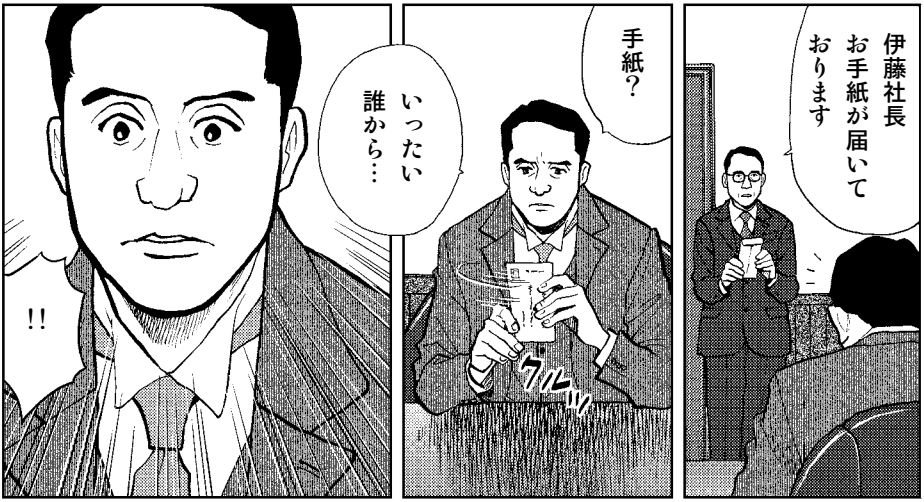
我が故郷の
大分銀行も休業に
追い込まれて
いるという…

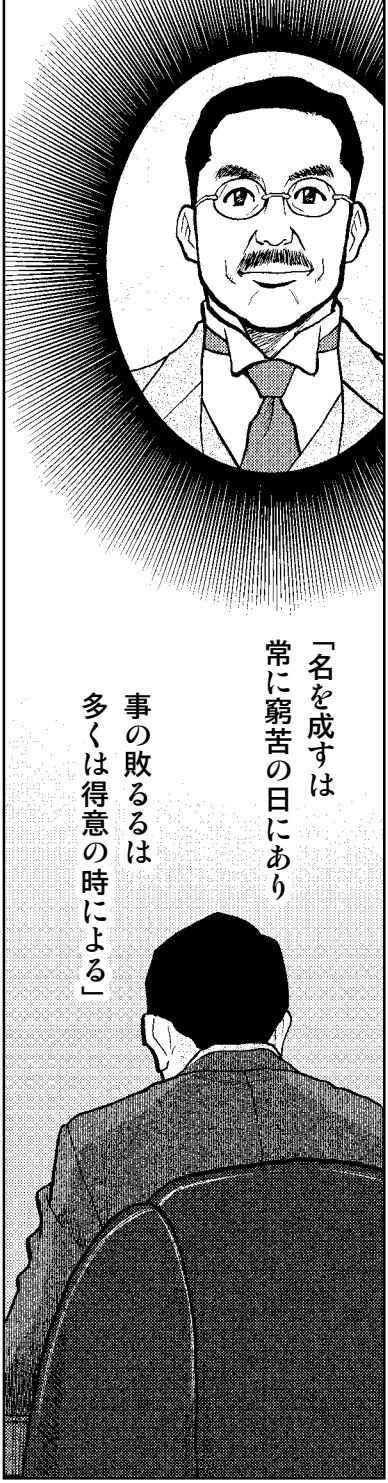
この未曾有の
有事において
古い慣習や前例に
囚われている場合
ではない

「特別融通」をもって
各地の銀行を…
日本の産業を
守らなければ
我が国の未来はない！


井上準之助は
倒産の危機にある
企業に対し
各地の銀行に融資させ
その融資した金額を
通貨発行権を持つ
日本銀行が
「特別融通」によって
引き受けることで
地方の銀行 そして
産業を守った
カッ
カッ


各地の銀行を
支援する一方で―
伊藤忠商事
二代目
伊藤忠兵衛
…取引先の
相次ぐ倒産で
我が社の損失は
計り知れない…
万事休す
なのか…


伊藤社長
お手紙が届いて
おります
手紙?
いったい
誰から…
!!


「名を成すは
常に窮苦の日にあり
事の敗るるは
多くは得意の時による」


進退きわまる苦しい
今こそ 名を成す
時である…
死力を尽くして戦え
ということですね…！
伊藤忠兵衛は
井上準之助の手紙に
奮い立ち
全財産を投げ出して
会社再建に取り組み
危機を乗り越えるに
至った


前例の少ない
「特別融通」の発行を
非難する声もあったが
準之助は
日本の未来を見据えて
怯むことなく救済に
奔走していった


…空景気のなか
実力以上に急拡大し
放漫な経営をして
危機に陥った企業は
救いがたい
しかし困難を乗り越え
我が国の経済を救う
力を持った企業には
なんとか踏ん張って
もらわねば…
そのためなら
私はどんな泥でも
かぶる覚悟だ!

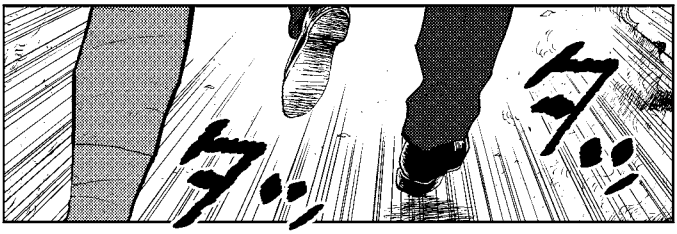

大正12（1923）年
関東大震災
発生
［第３章］
日本経済を護れ！
第二の渋沢栄一と呼ばれた男


日本銀行本館
屋根が
焼け落ちようと
かまわん！
２階から下に
燃え移ること
だけは…!!


金正貨と交換できる
「兌換紙幣（だかんしへい）」だけは
死守せねば…！

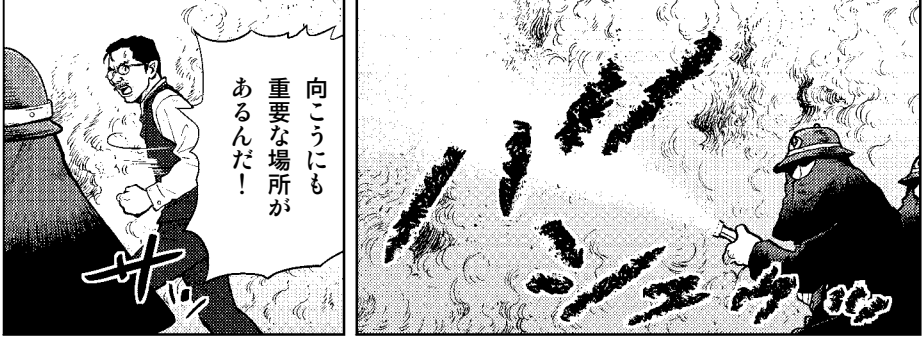

あれが灰に
なったら
国民生活は
破綻してしまう！


事情は承知
しました
しかし我々には
どこの倉庫なのか
わかりません！

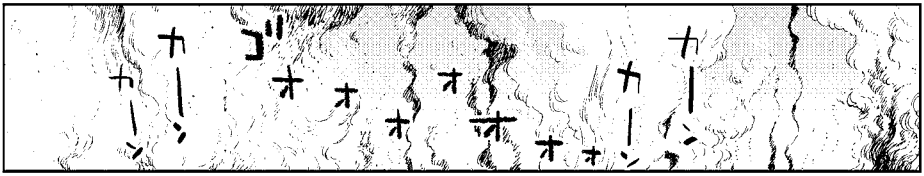

タッ
タッ

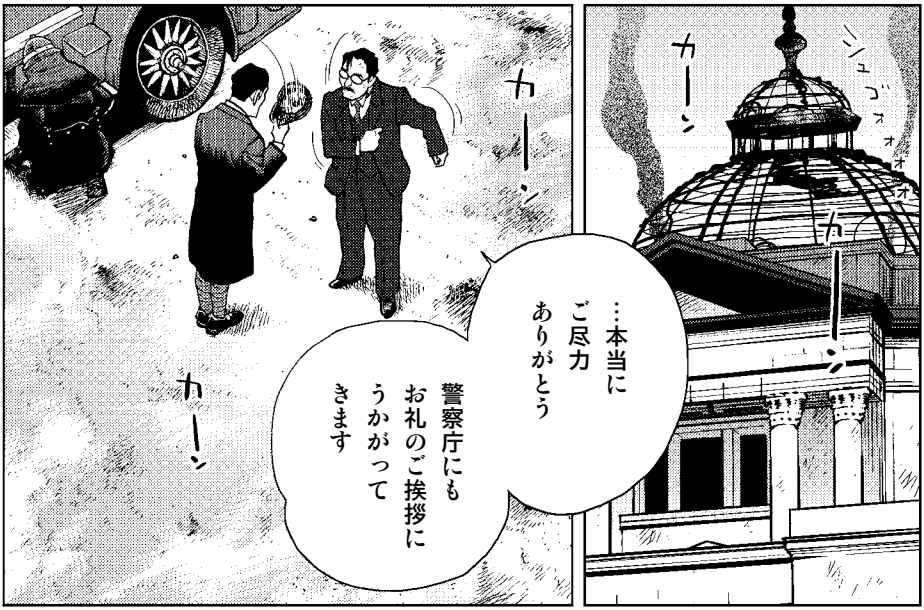

ゴオオオオオオ
ならば私が
案内する！


ゴオ
ゴオ
ここが燃えて
しまわないように
頼む！


向こうにも
重要な場所が
あるんだ！


これ以上
先に進まれるのは
危険です！
あとは我々に
おまかせ
ください！


カーン
カーン
ゴオオオオオオオ
カーン
カーン


ゴオオオオオオオ
カーン
カーン
カーン
カーン
…本当に
ご尽力
ありがとう
警察庁にも
お礼のご挨拶に
うかがって
きます


カーン
カーン
カーン
ブロロロロ
井上準之助君！
いま君のところへ向かっていたんだ!!
内務大臣
後藤新平
後藤新平宅
この惨状で一日たりとも国務を放棄するわけにはいかぬ
どうかこの場で…大蔵大臣を引き受けてもらいたい

関東大震災の直前
前首相・加藤友三郎が
病死したため
内閣は総辞職

震災のさなかにおいて
日本にはまだ
新しい内閣が
できあがっていない
状況であった

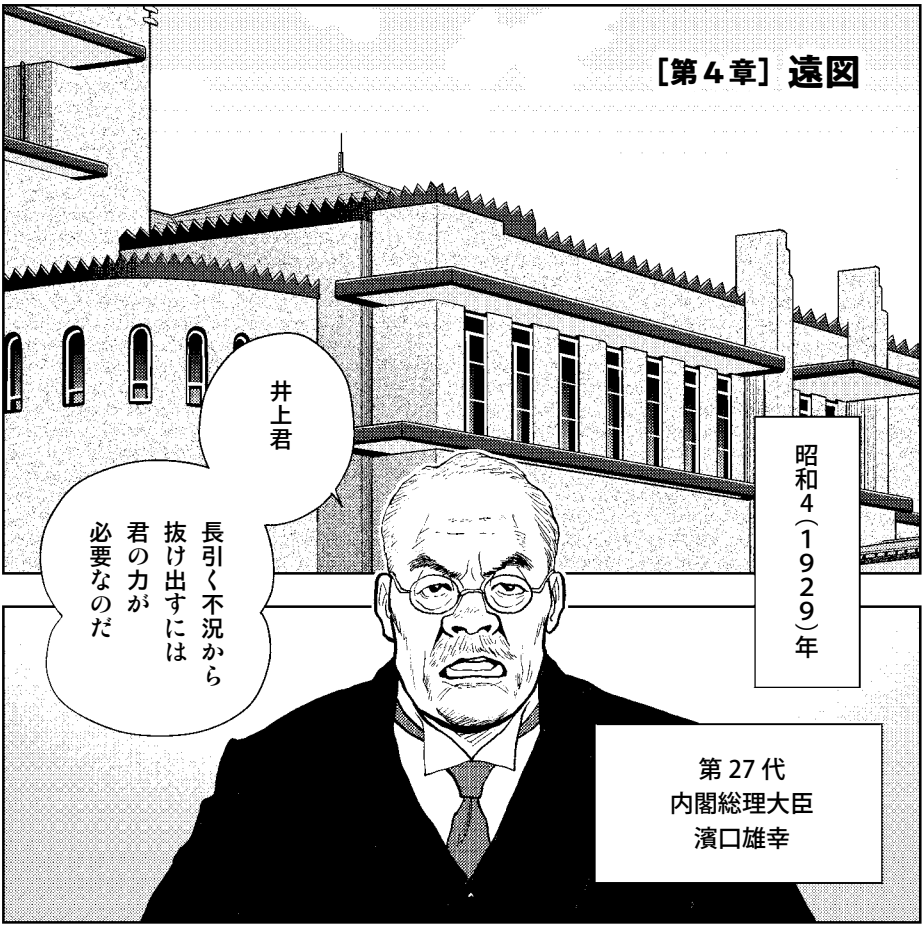
…わかりました
後藤さんにそこまで
おっしゃって
いただけるならば

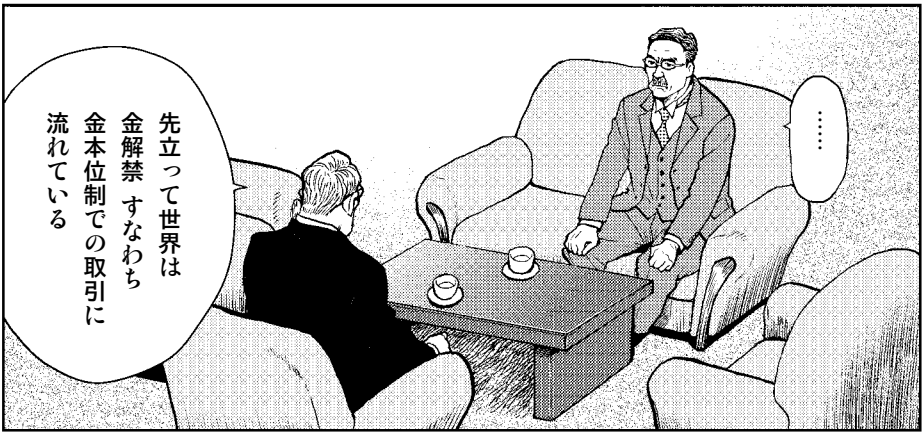
大蔵大臣の大任
お引き受け
いたします

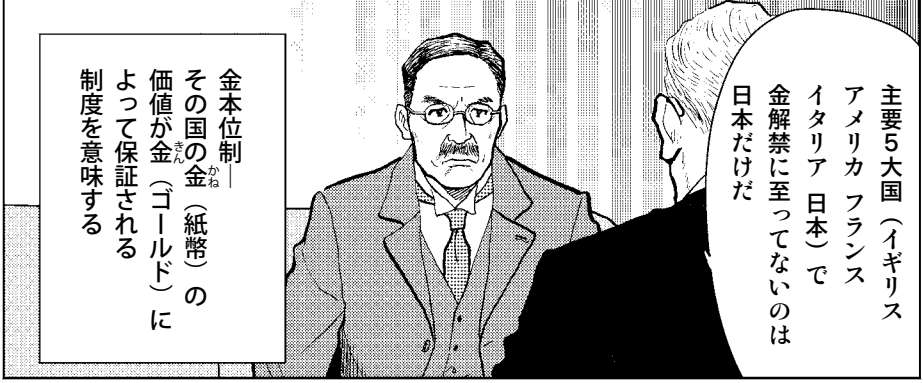
戦後不況に続き
関東大震災による
大混乱

そんななか大蔵大臣に
就任した準之助は
電光石火の早業で前例のない
「モラトリアム（支払猶予）」
「震災手形の発行」など
次々と救済策を打ち

震災から始まる
金融危機を見事に
回避してみせた


［第4章］遠図
昭和4（1929）年
井上君
長引く不況から
抜け出すには
君の力が
必要なのだ
第27代
内閣総理大臣
濱口雄幸


……
先立って世界は
金解禁 すなわち
金本位制での取引に
流れている


主要5大国（イギリス
アメリカ フランス
イタリア 日本）で
金解禁に至ってないのは
日本だけだ
金本位制―
その国の金（紙幣）の
価値が金（ゴールド）に
よって保証される
制度を意味する


金解禁をすれば
一時的に景気は冷え込み
あらゆる面で節約を
余儀なくされます
苦しい状況を
国民に強いることは
必至です
軍や政府の予算も
削減する必要があるため
快く思わない人も
多いでしょう


しかし 今 目の前の
損得よりも明日の…
遠い未来の繁栄を願う
ならば
たとえ命を狙われる
こととなっても
やり遂げる覚悟が
必要です


君の言う通り
この仕事は
命がけ…
私はすでに
覚悟を
決めておる


君も私と同じように
腹をくくってくれると
いうことだね


こうして井上準之助は
決死の覚悟で再び
大蔵大臣に就任し
「金解禁」という難題に
立ち向かっていくの
だった
大蔵大臣に就任して
早々 準之助は
4日間で7都市を
めぐって講演
そして―


日田・大鶴村
井上先生
おかえり
なさーい!!
パチ


…故郷とはやはり
よいものですね
私を育んでくれた
この日田のまちに…
あの日東京に送り出して
くれた家族に…感謝の
気持ちでいっぱいです
だからこそ私には
やらなければならない
ことがあります

スッ

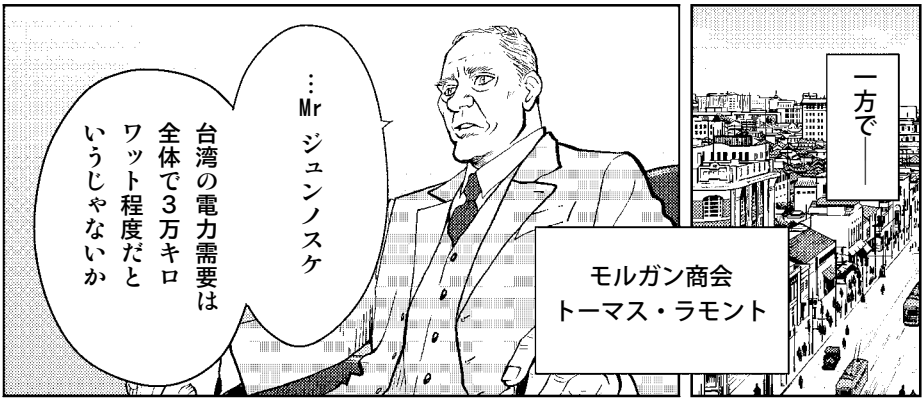
…今
目の前の損得
ではなく

遠く…
未来の日本
子どもたちに
思いを…

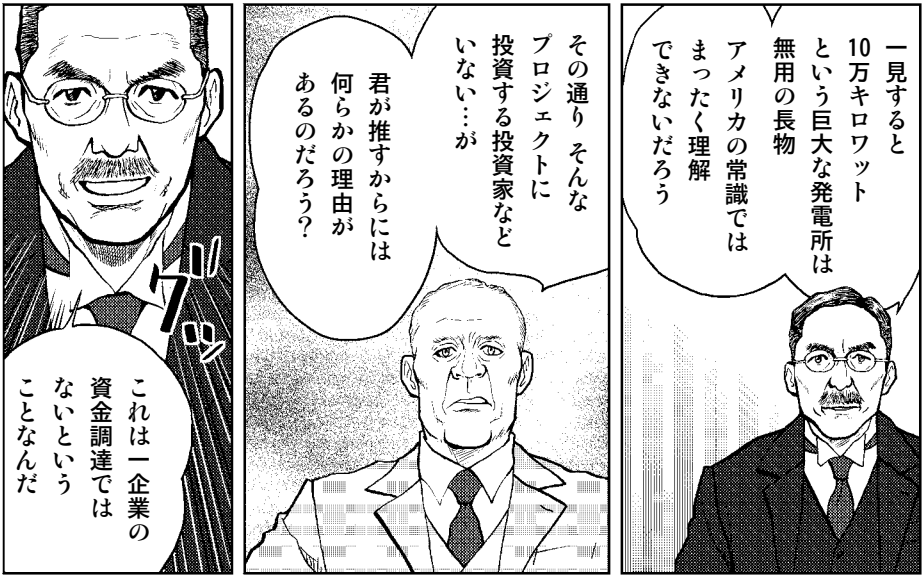
どんな困難が
待っていようとも
私は前に
進まなくては
ならない…！

第壱話

金解禁に向けた
準備に奔走した後
昭和5（1930）年
ついに金解禁を断行
同時に
財政緊縮政策が
進められた


一方で――
モルガン商会
トーマス・ラモント
…Mr ジュンノスケ
台湾の電力需要は
全体で3万キロ
ワット程度だと
いうじゃないか


そんな場所で
これほど巨大な
水力発電所を作った
ところで 誰が
その電力を使うと
言うんだい？
その心配は
もっともだ


一見すると
10万キロワット
という巨大な発電所は
無用の長物
アメリカの常識では
まったく理解
できないだろう
その通り そんな
プロジェクトに
投資する投資家など
いない…が
君が推すからには
何らかの理由が
あるのだろう？
これは一企業の
資金調達では
ないという
ことなんだ

知っての通り
日本は金解禁に踏み切った
金本位制を維持する
ために国として
金が国外に流出する
ことを食い止め外貨を
呼び込む必要がある

だからこそ私は
命をかけて
このプロジェクトを
後押しせねばならぬのだ！

……

東洋一の発電力を持つ
この水力発電所が
完成すれば台湾の
工業化・近代化は
一気に進む！

これは日本が
その命運をかけて
取り組む
国家プロジェクト
なのだ！

…わかった
ジュンノスケが
そこまでいうので
あれば信用できる

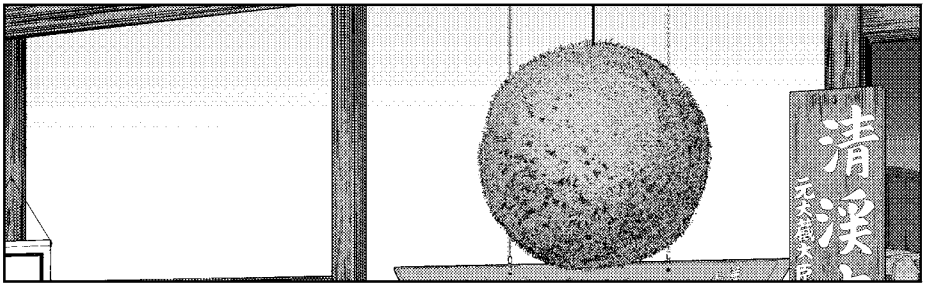
外債発行に向けて
動いてみよう

準之助はその国際的な
信用力を持って
台湾・日月潭発電所の
外債発行を実現

10年間停滞したまま
だった建設を再開させ
台湾の近代化にも
大きく貢献した


しかし
昭和7（1932）年
井上準之助
特別講
ザワ
ザワ
ザワ
ザワ
ザワ
おっ井上先生の
お出ましだ！
ズドドド




清渓


…文字通り 命がけで
日本経済の為に奮闘した
準之助の死後
アメリカやイギリス
など世界中のマスコミ
によって『日本に井上のある
間は日本を信用してよい』
『実に全世界にとって
一大損失である』などと
その死を惜しむ報道が
なされたそうです

準之助は
世界からも愛されて
いたんですね

準之助を撃ったのは
『血盟団』という
テロリストのひとり
ですが

その後
『本当に申し訳ない
ことをした』と準之助の
墓を訪れています

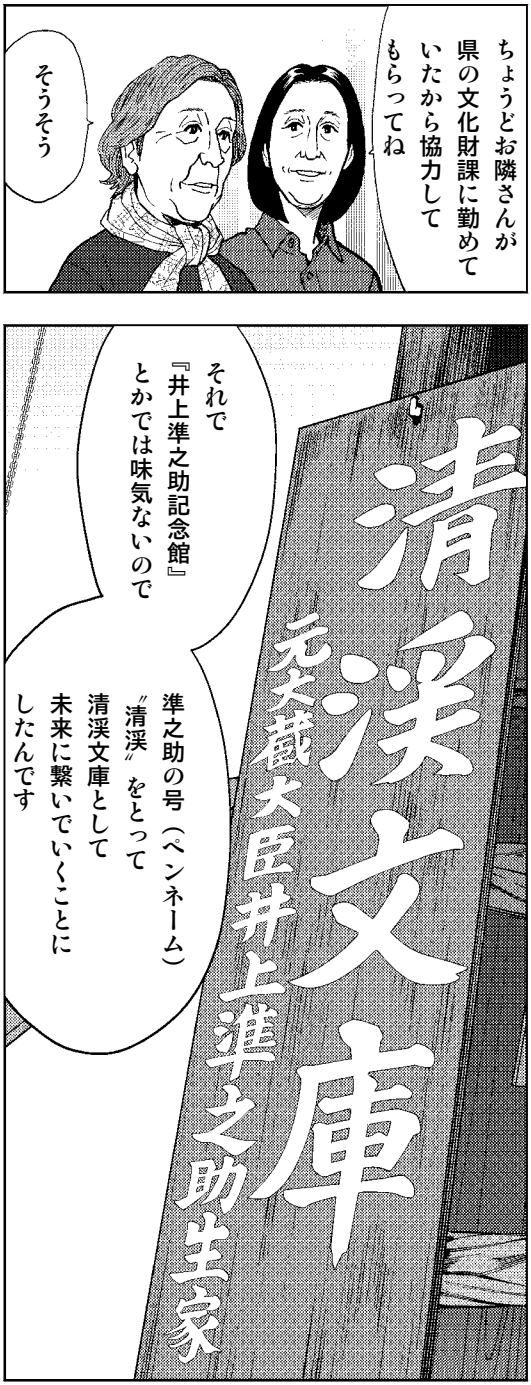
それにしても
よくこれだけの
記事や遺品が
きれいに残されて
いましたね

実は私の祖父が
準之助の秘書をしていた
こともあって
母が遺品等の保管を
していたんです

私はここに嫁いで
きた身ですから
準之助と血の
つながりは
ないんですが

これは次の世代に
きちんとつないでいく
べきものだという思いが
強くなりましてね

貯金も取り崩して
資料を整理
しはじめたんです


ちょうどお隣さんが
県の文化財課に勤めて
いたから協力して
もらってね
そうそう
清渓文庫
元文藏大臣井上準之助生家
それで
『井上準之助記念館』
とかでは味気ないので
準之助の号（ペンネーム）
〝清渓〟をとって
清渓文庫として
未来に繋いでいくことに
したんです
おかげさまで
芳名帳によると
歴代の日銀総裁や
大分銀行の頭取も
来られておりまして
…なるほど
専門家たちの間でも
彼の偉業は語り継がれて
いるということですね


遠図
庚午初春於
金陵官舎日
清流


ペラ
私なんてまだまだ
遠く及びませんが
この「遠図」を
見るたびに
目の前のことに
囚われず
遠い未来を見据える
ことが大切だと
声をかけてもらえる
気がするんです


遠い未来に思いをはせ
命がけで日本経済を
守ろうと献身した
井上準之助
62歳の生涯の先に
拓かれた道は
私たちが生きる今の
その先へと繋がって
いるにちがいない

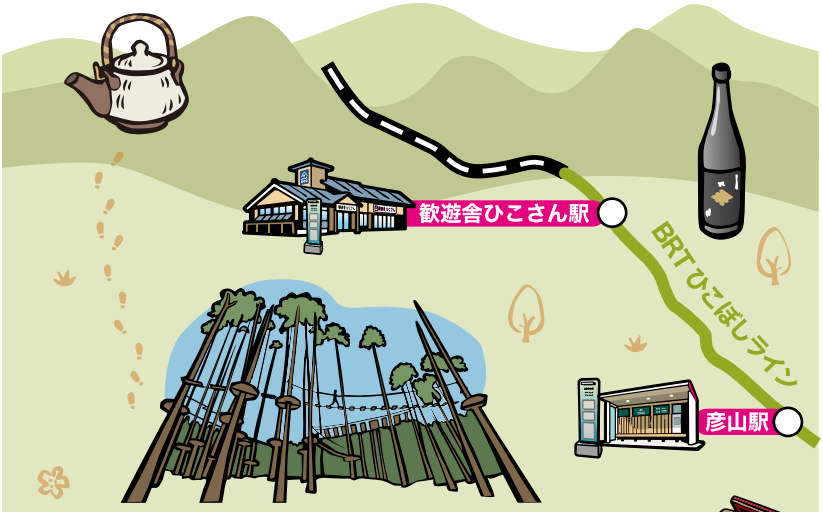


井上準之助の郷里と水の恵み

偉人の歩んだ歴史の面影と、
水郷・日田の魅力に
出会う旅へ

ひこぼしラインで繋ぐ ゆかりの地＆観光周遊マップ





フォレストアドベンチャー・添田



以前は列車が通っていた日田彦山線のうち、福岡県添田駅～大分県日田駅の40kmの区間を走る「BRTひこぼしライン」。

井上準之助ゆかりの酒蔵をはじめ、車窓から大肥川など豊かな自然を眺めながら楽しむ、エコローカルな旅をお楽しみください。



BRTひこぼしライン沿線エリア

清渓文庫（BRT方司口駅より徒歩1分）





準之助の貴重な遺品や資料、蔵書を見学でき、彼の原点に触れられる。

清渓沿線沿いの酒蔵

・井上酒造:1804年創業、井上準之助の生家である酒蔵。素材・環境にこだわり抜き、丹精込めた酒造りが行われている。最寄駅はBRT方司口駅。
・老松酒造:1789年創業、清酒と共に、こだわりの詰まった焼酎「闇魔」も人気。最寄駅はBRT伏尾駅。
・片岡酒造:1898年創業、福岡県の東端にある東峰村にある酒蔵。最寄駅はBRT大行司駅。



井上酒造



片岡酒造



老松酒造

フォレストアドベンチャー・添田

旧JR日田彦山線の駅舎を改修した受付で冒険がスタート！　廃線となった線路の上を歩いた先では、森の中の本格アスレチック体験ができる。霊峰英彦山の玄関口でもあり、併設された道の駅歓遊舎ひこさんでは地場産品のお買い物もできる。最寄駅は歓遊舎ひこさん駅。



五感を彩る、ひたひこ沿線の豊かな恵み

日田駅周辺

豆田エリア

江戸時代、幕府の直轄地であった天領ひたの時代の残り香を歩いて楽しむ、重要伝統的建造物群保存地区。

隈町エリア

水郷ひたを象徴する三隈川。川辺には旅の疲れを癒す日田温泉の旅館街が軒を連ねています。地元の味を楽しめる飲食店も豊富に揃っています。

日田4大祭り

① 天領日田おひなまつり(2~3月)



豆田町や隈町などでひな人形やひな道具を一斉に展示・公開。

② 日田川開き観光祭 (5月)



2日間で約1万発の花火が初夏の夜空を彩る。お昼はパレードなどのイベントで盛り上がる。

③ 日田祇園 (7月)



およそ300年の伝統を誇る夏の伝統行事。絢爛豪華な山鉾が祇園囃子の音色と共に日田の町を巡行。

④ 日田天領まつり・千年あかり (11月)





日田天領まつり:江戸時代、幕府の直轄地「天領」の栄華を今に再現する。
千年あかり:豆田エリアと、花月川が約3万本の竹灯籠で幻想的な光に包まれる。

国の登録有形文化財に指定された「清渓文庫（せいけいぶんこ）」

井上準之助の生家（本宅）であり、国の登録有形文化財にも指定されている「清渓文庫」。準之助のペンネーム（号）である〝清渓〟にちなんで名付けられたこの館には、激動の時代に命がけで日本経済を支えた彼の知られざる足跡と、人間性を物語る貴重な資料・遺品が数多く展示されています。

準之助が生前残した「遠図」の書をはじめ、激動の昭和金融恐慌や金解禁の裏側を伝える新聞記事、直筆の書簡、愛用していた身の回りの遺品、そして青年期に貪り読んだ蔵書の数々。これらは準之助の秘書を務めた人物とその遺族によって長年大切に保管・整理され、現代へと受け継がれてきた極めて保存状態の良い一級の歴史資料群です。

また井上準之助は、日本初の日本人によるゴルフ場「東京ゴルフ倶楽部」を創立し、元JGA（日本ゴルフ協会）会長を務めた「日本ゴルフ界の父」という側面もあります。展示スペースには、愛用していた「ゴルフクラブ」などのゆかりの遺品も大切に保管・展示されており、国家の緊張感ある執務の合間に嗜んでいた彼の素顔やプライベートな一面を感じることができます。

清渓文庫の展示物は、単なる「古い遺品の展示」にとどまりません。国難のさなかで「遠い未来の子どもたちのために」と自らを賭した準之助のフロンティア精神と決断の哲学が、秘書や地域の人々の手によって大切に守られ、今も脈々と息づいていることを肌で実感できる。国内の政財界関係者はもとより、台湾からの来訪者や歴史研究者が絶えず訪れる清渓文庫は、水郷・日田が育んだ偉人の偉業を次の世代へと語り継ぐ、かけがえのない文化拠点となっています。

［マンガ］井上準之助（いのうえじゅんのすけ） 日本経済（にほんけいざい）を護（まも）り、未来（みらい）を創（つく）った先覚者（せんかくしゃ）

令和 8 年 10 月 31 日　第 1 刷発行

編　　著　日 田 市
〒 877-8601 大分県日田市田島 2-6-1
tel 0973-23-3111

マ ン ガ　向山廉平
発　　行　日 田 市
企画制作　㈱梓書院
〒 812-0044 福岡市博多区千代 3-2-1
tel 092-643-7075　fax 092-643-7095

印刷・製本／モリモト印刷㈱
©2026 Hita City Printed in Japan
乱丁本・落丁本はお取替え致します。


【第1章】
日本経済を護る要
一旦は頓挫も
再びフランスに社交と
粘りで説得を
重ねて
遂行せよ！
渡欧前は
イギリス ベルギー と
欧州に赴任
どんな困難が
待っていようとも
私は前に
進まなくては
ならない…！
しかし 今 目の前の
損得よりも明日の…
遠い未来の繁栄を願う
ならば
たとえ命を狙われる
ことになっても
やり遂げる覚悟が
必要です
東洋一の発電力を持つ
この水力発電所が
完成すれば台湾の
工業化・近代化は
一気に進む！
これは日本が
その命運をかけて
取り組む
国家プロジェクト
なのだ！